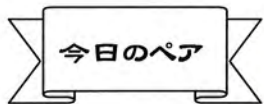


十月三十一日（日）

～お遍路二日目～



何でも知ってる
としあきさん



かかあ天下の
きくえさん



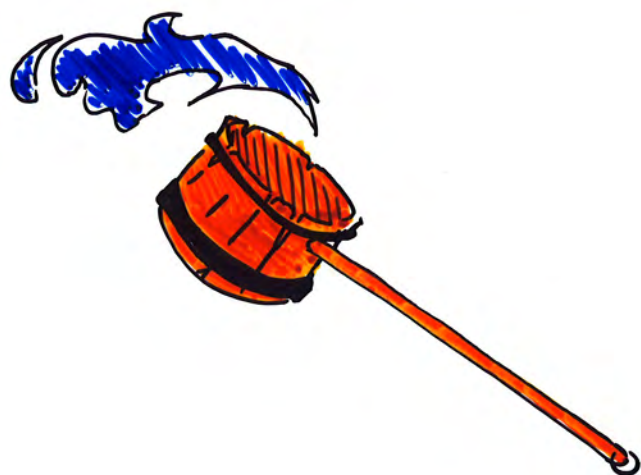
100kmマラソン出場者
つよしさん



「すごいねー」が
口グセのよしこさん



フアッション
大好き
そとはるさん



22

平等寺

びょうどうじ



本堂石段左にある開運鏡の井戸としての
霊水はどんな日照りでも枯れることなく湧
き出ている。



えいはいあつ
おじいちゃん
孫みたいやあつ
えいはいあつ

初めて全盲の方と一
緒に過ごすのでとても
緊張
今日一日サポート頑張
ります!!

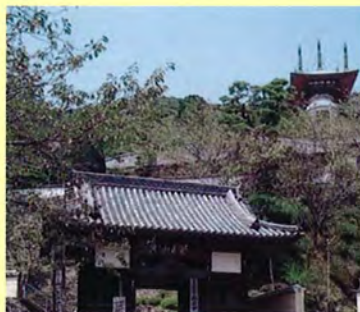
先達さんの話を聞いて
いるところです。少し
緊張気味の二人です。
しかし、これから仲良く
腕を組んで階段を登り
ました。今日一日よろし
くお願いします。



23

薬王寺

やくおうじ



四国一の厄除けの寺とされる。

女33歳、男42歳が厄年で、厄年の人は厄銭を落としながら登る。

どっちの腕を出せばいいのか、どれくらいの距離を保てばいいのかいろんなことを考えました。足元もかなり注意したので正直、精神的にも疲労もありました。



菊絵さんの手は優しく、人の腕をとって歩くということがこれほど温かいと思った事はありませんでした。また、自分の手が相手にどう感じてもらえているのか不安でしかたありませんでした。2日目ではありましたが、私の中の緊張はまだまだ続きそうです。



年の数だけ叩いて厄を払うというものです。全員きっちり年の数だけ叩いて厄を払ってきました。

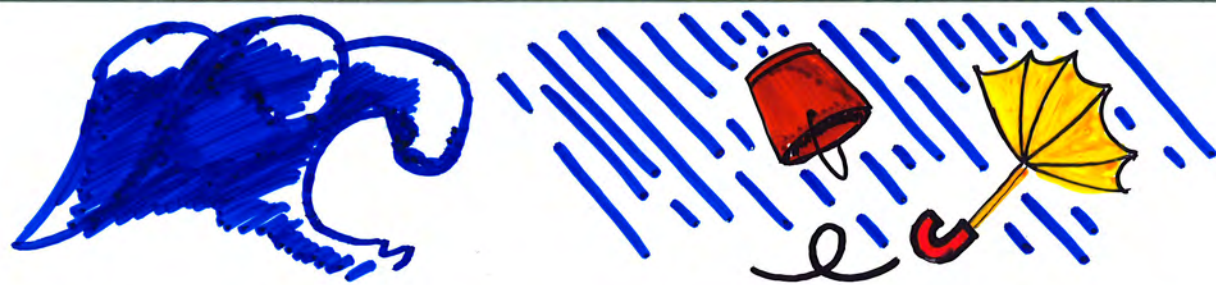


観音様にも直接手で触れ、お勤めしました。世の中にはいろいろな人の想いの込められたモノが存在するんだなと感じました。



群馬から参加された三浦さんご夫妻にとってこのお遍路の旅は特別なものでした。

こうやって見る景色一つ一つに感動してくださっていました。その姿を見ると、もっともっと高知のよさを伝えたいと思いました。



日和佐うみがめ博物館

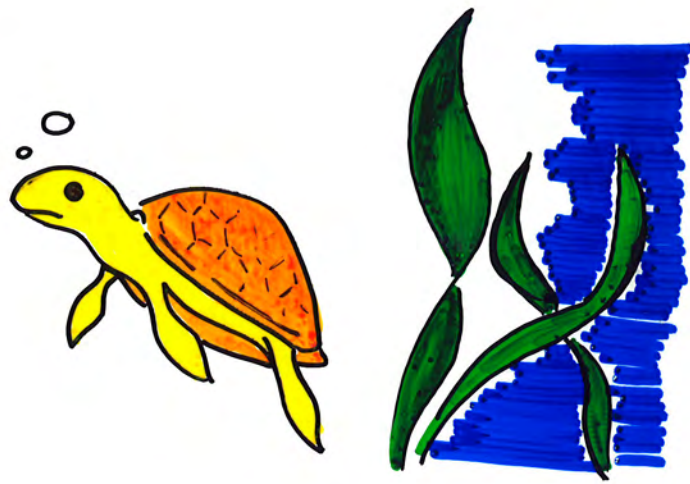
カレッタ

雨のため予定変更
ヤッフゥて!!



人生で初めてウミガメという生き物に触りました。はく製やレプリカに触る時、目をつむり触ってみましたが、私は頭の中にイメージができあがっていたため“見えない”という感覚がつかめませんでした。ほんの少しでも理解できる様、もっともっと一緒にいたいと感じました。





人生初のウミガメ！

触るの怖かったあ！赤ちゃん
ウミガメは小さくて可愛かった
です。でもやっぱり独特の
香りがほのかに・・・(笑)



まっしぐらで海がはしゃいで
たぶん浅いから
みくろと
御厨人窟



ホテル明星泊

あけのほし

..カメヤ